

平成 18 年度 第 16 回秋季シンポジウム

「宴にみる貴の美学－酒宴と料亭の空間から－」

今日の宴は、料理、しつらえ、お酒にいたるまで、さまざまな要素で構成され、ある一定の様式が形づくられています。いにしえの人々に貴ばれた伝統が、宴の重要な要素を構成したと考えられます。古来より伝えられた「貴の美学」は、後々の宴にも影響を与えてきました。それらは、どのように伝えられ、今に受け継がれてきたのでしょうか。本年度のシンポジウムでは、神とともにいただく神酒と、宮廷料理ゆかりの食というふたつの視点から、宴にみる貴の美学について探りたいと思います。

講演者

栗山 一秀 氏：月桂冠 元副社長

小西 重義 氏：生間流二十九代家元萬亀楼

記

日時

2006 年 11 月 25 日（土） 13：30～17:15

場所

武庫川女子大学 甲子園会館 西ホール

参加費

無料

次 第

13:00 受付開始

13:00 開会あいさつ 森谷尅久（生活美学研究所）

13:40 講演 1「酒宴と神酒にみられる貴」 栗山 一秀（月桂冠 元副社長）

14:30 講演 2「貴の食と宴の美学」 小西 重義（生間流二十九代家元萬亀楼）

15:20 休憩

15:50 パネルディスカッション

参 加 者

栗山 一秀（前掲）

小西 重義（前掲）

井上章一（国際日本文化研究センター教授・生活美学研究所嘱託研究員）

進 行

藤本憲一（生活美学研究所）

総合司会

横川公子（生活美学研究所）

17:15 閉会